# 公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室 URC資料室だより NO.77 平成26年11月号 福岡アジア都市研究所は、

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館6F **☎092-733-5707** FAX:092-733-5680 e-mail: library@urc.or.jp 福岡市を中心に産学官が協力して

設立した研究機関です

#### 目次

- ◆URCニュース
  - ①「今月のおすすめ 情報戦略室から新たな連載始まりま した!博多港輸出額は輸入額の約1.8倍」・・・・・1 ②平成26年度第3回都市セミナーを開催します。・・・2 ③2014 年度「アジア都市景観賞」合同審査会を開催しまし
- ④平成26年度市民研究員中間発表会を開催します。・・3
- ◆URC資料室ニュース
- ①平成26年度第3回ミニセミナーを開催します。・・・3 ②蔵書点検のため都市政策資料室は休室します。・・・・3
- ◆マスコミでみるURCの今・・・・・・・・・・・3
- ◆資料速報 平成26年10月受入分・・・・・・・別添

#### 今月のおすすめ 情報戦略室から新たな連載始まりました! *URC*ニュー

博多港輸出額は輸入額の約1.8倍(8,200億円以上の"貿易黒字") SERIES Global City Status 2014.11

博多港輸出入相手国・地域別「取扱量」(2013年)



博多港輸出入相手国・地域別「貿易額」(2013年)



今年も、情報戦略室では、さまざまな都市データを発信中です。今年は特に「世界のなかの福岡」 として、福岡市と世界との関わりについてみてい ます。

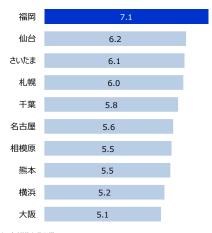
アジアには人口数百万人からー 千万人超のメ ガシティが数多くあります。福岡市は、これらの 都市と比べるとコンパクトで、利便性と生活の質 に恵まれた都市です。そして、アジアのメガシテ ィと日本を結ぶ海上交通のゲートウェイとして、 多くのモノや価値が博多港から出入しています。 貨物量でみた場合、博多港の輸入量は輸出量の約 1.7 倍と輸入量が多いのに対し、貿易額では輸出 額が輸入額の 1.8 倍と逆転します。 それだけ 「重 量単価」の高い価値のものが博多港から輸出さ れ、多くの対価を得て「貿易黒字」を生み出して いる状況です。

貨物輸出量は国内港湾の 10 位ですが、輸出額 は同7位と上昇し、「重量単価」では5位と、 輸出総額首位の名古屋港よりも高い金額となっ ています。

※詳細はWeb ページ

(http://urc.or.jp/fukuokagrowth-gcs) を参照 ☆トピック☆福岡地区平成 25 年度開業率大都市一位

#### 開業率上位大都市(2013年度)



資料:各都道府県労働局 \*各労働局とも、職業安定所単位で当該市域を含むエリアを全て合計しており、行政区域とは

## ②平成26年度 第3回都市セミナーを開催します。

## 都市計画に関する国際ガイドライン~これからの都市に求められること~

2014年11月11日及び12日の両日にわたり、福岡市の西南学院大学キャンパスで、国連ハビタットが主催する「都市・国土計画に係る国際ガイドラインに関する特別専門家会合」(非公開)が開催されます。この会合は、主に発展途上国における都市化の進展に伴い生じる様々な問題について、都市計画の段階で適切に対応することを目的とした国際的なガイドラインを作成するために、世界中から都市計画の専門家が、ここ福岡に集まり会合を行うものです。

国連ハビタット福岡本部及び当研究所では、この会合の成果を広く市民の皆様に還元するため、この会合の日本代表の専門家である野田順康西南学院大学教授と来福される海外の専門家2名にご協力いただき、国際ガイドラインの趣旨とこれからの都市に求められることについてトークセッション形式でのセミナーを開催します。この中では、ケーススタディの一つに選ばれた福岡

第1回 専門家会合(2013 年パリ)

市の特色についても議論 されることでしょう。皆 様のご参加をお待ちして おります。

なお、当日のトークセッションは英語で行いますが、日本語の逐次通訳がつきます。

#### 登壇者:

クリスティーヌ・プラット 氏(当専門家会合座長 コ モンウエルス都市計画家会 会長)

ラフ・トゥッツ氏(国連ハビタット都市計画部門責任者) 野田順康氏(西南学院大学法学部教授、(公財) 福岡アジ ア都市研究所 顧問) 【日 時】平成26年11月13日(木)10:15 ~11:45 (受付開始 9:45~)

【会 場】西南学院大学西南コミュニティーセンター 1 階ホール

http://www.seinan-gu.ac.jp/campusmap.html

【主 催】国連ハビタット福岡本部、(公財) 福岡アジ ア都市研究所

【後 援】福岡県、福岡市、福岡地域戦略推進協議会、 公益社団法人日本都市計画学会九州支部、アジア 景観デザイン学会

### ※参加無料

【お申し込み】住所・氏名・電話番号をお書きの上、 電話、FAXまたはE-mailで下記までお申し込み下さい。福岡アジア都市研究所のホームページ (http://www.urc.or.jp/)からも申し込みが可能です。

Tel: 092-733-5686 Fax: 092-733-5680 E-mail:

event1@urc. or. jp 担当: 唐、的野

\*写真出典:野田氏撮影(左)、AHS提供(右) 当専門家会合日本代表プロフィール



#### 野田順康

1979 年旧国土庁入庁。省庁では 内閣府参事官、国交省総合計画 課長などを歴任する一方、国連 では人間居住センター専門官、 人道問題局専門官などを歴任。 2006 年から 2012 年 7 月まで国連 人間居住計画アジア太平洋本部長 を務めた。

専門は地域計画学、開発政策一般。 博士(人間環境学)。

## ③2014 年度「アジア都市景観賞」合同審査会を開催しました。

去る10月8日、アジア都市景観賞合同審査会を開催しました。主催する「国連ハビタット福岡本部」、「アジアハビタット協会」、「福岡アジア都市研究所」、「アジア景観デザイン学会」の代表者と国内外の専門家によって構成された審査委員による厳正な審査の結果、12件(国内案件4件、海外案件8件)の授賞が内定しました。11月中旬に福岡市内において授賞式を開催し、受賞団体の表彰が行われます。



## 【国内受賞案件】

岩手「東日本大震災からの復興の象徴『三 陸鉄道』」

姫路「保存修理を通じて次世代に継承する 人類の文化遺産姫路城とまちづくり」

福岡「博多駅を中心とした連携整備プロジェクト」

竹田「竹田地区街なみ環境整備事業 ~歴史的風致を活かした景観まちづくり~」

\*写真出展: URC撮影 合同審査会の様子



## ④平成 26 年度市民研究員中間発表会を開催します。

本年度の市民研究員は『スポーツを生かしたまちづくり』をテーマに、 3名の市民研究員が7月末より少しずつ研究を進めております。各人の研 究テーマがおおよそ確定し、課題認識や研究の進捗について発表できる運 びとなりましたので、例年どおり市民研究員 OB・OG の皆様や関係各位 をお誘いし、11月13日木曜日、17:30から18:50まで当研究所会議 室において、中間発表会を実施します。

写真出展: 委嘱式の様子 URC撮影



## URC資料室ニュース

## ①平成26年度第3回ミニセミナー『人口減少社会における東日本大震災復興の課題

## 一気仙沼市での復興支援体験を通じての備忘録ー』会員研究員研究成果報告会を開催します!

## 講師:藤原正教氏(技術士(都市及び地方計画)一級建築士平成26年度 会員研究員)

平成21年度市民研究員、平成22年度当研究所「花のまちづくり研究会」 の研究員としてご活躍された藤原正教さんは、平成24年4月から25年6 月まで、宮城県気仙沼市において、東日本大震災の復興支援事業に携って 来られ、今回、会員研究員として、その時の支援体験から見た震災復興の 課題についてまとめられました。

その中から、大都市を襲った阪神・淡路大震災と小さな過疎市町村を襲 った東日本大震災とを比較をしながら、東日本大震災の復興の困難さ、ス ピード感、被災者の複雑多様な思い、まちづくりとしての復興のあり方、

支援のあり方などを中心にお話して戴くことになり、ミニセミナーを開 催することにいたしました。皆様のご参加をお待ちしています。

【日 時】平成26年12月10日(水)18:30~20:00

(受付開始 18:00~)

【会場】(公財)福岡アジア都市研究所会議室

【主 催】(公財)福岡アジア都市研究所 【共催】 福岡市

参加無料 定員30名 \*申し込み多数の場合は、先着順とさせていただきます。

【お申し込み】電話かFAXまたは、E-mailで、住所・氏名・電話番号を添えて下記までお申し込み下さい。

申し込み締め切り 12月8日(月) 公益財団法人福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

Tel: 092-733-5707 Fax: 092-733-5680 E-mail: library @urc.or.ip 担当:山崎

# ②蔵書点検のため、12月1日月曜日から12日金曜日まで都市政策資料室は休室いたします!

度は1週間繰り下げて12月1日月曜日から12日金曜日までの期間実施することになりました。その間のご利用はでき ませんので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。 (山崎三枝 司書)

## 毎年11月最終週から12月第1週にかけて実施していた都市政策資料室の蔵書点検ですが、諸般の事情により、今年

## ◆マスコミで見る「URC」の今! -最近1か月の情報を中心に-

#### ◎新聞

## (2014/10/30 日刊建設工業新聞 9p)

九州経産局ら/福岡市で PFI・PPP セミナー開く/新たな 発想で付加価値創出 研究所 〇 B で現在企画委員の谷口 博文さんが行ったショートプレゼンテーション報告

#### (2014/10/29 読売新聞 朝刊 33p)

針路を聞く 2014 福岡市長選 上 都市基盤 グランドデ ザイン必要 野田順康顧問がインタビューに答える。

## (2014/10/28 毎日新聞 朝刊 23p)

2014 福岡市長選のどうする課題〈上〉急速な高齢化「20 年後 | 見据えた街に 小川全夫特別研究員がコメント

写真出展:講師・藤原正教さん撮影

見は2分されたが、撤去となり今は無し

津波で陸地に取り残された漁船。 残すか撤去かで住民意

## (2014/10/27 朝日新聞 朝刊 29p)

DIY リノベでビル再生 人・建物・まちつなぐ/福岡県 大 牟田「塗りムラにも味」建設当時の空間生かす 福岡・博 多 山王マンション

## -3-

#### URC 資料室だより NO. 77 (H26. 11)

市民研究員OB吉原勝己さんの活動が紹介される。

## (2014/10/24 西日本新聞 朝刊 32p)

ひと 九州・アジア経営塾(福岡市)橋田紘一理事長兼 塾長-人材育成に愛着と責任 当研究所会長が紹介さ れる。

## (2014/10/24 日本経済新聞朝刊 地方経済面 35p)

福岡市昨年度、事業所開業率トップ、人口増・都市機能集 約が寄与 当研究所情報戦略室のデータが紹介される。 (@印=以下関連記事)

(2014/10/24 日本経済新聞朝刊 地方経済面 55p) 福岡市昨年度、事業所開業率トップ、人口増・都市機能集

福岡市昨年度、事業所開業率トップ、人口増・都市機能集 約が寄与 @

## (2014/10/21 毎日新聞 夕刊 1p)

市民と企業で新規事業 福岡40人&6社 商品開発に 生活感覚 イノベーションスタジオ福岡の活動が紹介され、安川浩平・プロジェクトマネージャーのコメントが 掲載される。

## (2014/10/16 朝日新聞 朝刊 9p)

福岡 創業支援ブーム 特区指定、官民が相次ぎ拠点地域戦略推進協議会(以下=FDC)」が主催する「イノベーションスタジオ福岡」の活動拠点となる「スタートアップカフェ」が 10 月 11 日「ツタヤブックストア天神」内にオープン(0 = 以下関連記事)

#### (2014/10/15 西日本新聞 朝刊 3p)

特区福岡 未来どう描く 読み解く 市の狙い・施策Q&A「人材供給源」脱却へ なぜ必要?創業支援、国が主導 役 何をする?雇用に期待、解雇懸念 利点・課題は?☆

(2014/10/15 日本経済新聞 朝刊 地方経済面 39 p) 特区点検 福岡市の創業・雇用創出 投資拡大へ国内外 PR 法人税下げの実現課題 ☆

## (2014/10/12 熊本日日新聞 朝刊 4p)

起業支援へ拠点カフェ開設 創業特区の福岡市☆

#### (2014/10/12 西日本新聞 朝刊 27p)

福岡県/創業支援カフェ 始動 ベンチャー経営者ら期待 と注文☆

#### (2014/10/12 西日本新聞 朝刊 26p)

旧みそ蔵を特別公開 西区 当研究所OBの大塚政徳さんが事務局長を務める唐津 街道姪浜まちづくり協議会の活動が紹介される。

(2014/10/12 読売新聞 朝刊 31p)

創業支援カフェ 福岡にオープン ☆

## (2014/10/11 西日本新聞 朝刊 7p)

政府 外国人の家事支援解禁 特区改革、1 4 緩和策を決 定☆

## (2014/10/10 朝日新聞 朝刊 27p)

強気の目標 これから正念場 選択 福岡市長選 下 雇用 特区☆

## (2014/10/10 日本経済新聞 朝刊 37p)

創業カフェ あす開設 福岡市,相談員が常駐☆

#### (2014/10/10 山陽新聞 朝刊 33 p)

ティータイム 福山との関係深めたい 当研究所に在籍経験のある朴宰弘 (パクジュホン) さん の近況が紹介される。

(2014/10/9 産経新聞 25p)

特区拠点のカフェ公開 福岡市☆

#### (2014/10/9 長崎新聞 7p)

起業支援拠点 天神に/特区、11日オープン☆

## (2014/10/9 西日本新聞 朝刊 26p)

創業支援カフェ 気軽に「コンシェルジュ」常駐 専門家 招き相談会も 中央区今泉 11日オープン☆

## (2014/10/9 宮崎日日新聞 朝刊 7p)

特区拠点のカフェ公開/福岡市/企業支援へ11日開所☆

### (2014/10/9 日刊建設工業新聞 9p)

九州経産局ら/10月28日に福岡市で $PFI \cdot PPP$ セミナー 研究所OBで現在企画委員の谷口博文さんが行うショートプレゼンテーション予告

## (2014/10/9 読売新聞 朝刊 33p)

福岡市のスタートアップカフェ 創業支援11日オープ

## (2014/10/1 西日本新聞 朝刊 24 p)

福岡市特区第2弾 雇用相談センター来月開業 政府認定 ☆

#### ◎雑誌

## (2014.10 議会月報 通号 644 号 3~9p)

常任委員会 第1委員会 8月4日1.所管事務調査 公益財団法人福岡アジア都市研究所に関する次の事項 について 事業計画、資金計画、決算に関する資料

(2014/10/20 財界九州 11 月号 No.1082 172p)

福岡市の戦略特区 ツタヤに創業支援カフェ☆

## (2014/10 熊本都市政策研究所ニューズレター 第6号 裏表紙)

開設2周年記念講演会のお知らせ 講師谷口博文氏 研究所OBで現在企画委員の谷口博文さんが行う講演 会の予告

## (2014/10/10 日経アーキテクチュア 58~59 p)

トラブル事例賃貸マンション 工事騒音に文句が続出 市民研究員OB吉原勝己さんの会社スペースRデザインの事例が紹介される。

# (2014/10/1 九州マーケティング・アイズ Vol.71 22 ~24 p)

「アジアと九州の今:アジアの人が集まるところ」を 研究所OB山本公平さんが執筆

#### (2014/10/1 ふくおか経済 Vol.314 130 p)

Fukuokan's Voice〜福岡の経営者に聞く〜 市民研究員 OB 早田晋一さんの声「コンサルティング重 視で差別化」が紹介される。

### (2014/9/30 フォーラム福岡 Vol.57)

20~27p 今秋、福岡で始動するイノベーションの新たな動き:イノベーションスタジオ福岡福岡が本格始動イノベーションスタジオ福岡の活動が紹介され、担当の安川浩平・プロジェクトマネージャーのコメントが掲載される。

**52~55p** イノベーション都市の成否は人材のプロデュースカ イノベーションスタジオ福岡の活動が紹介される。

**56~59p** 「Special Report Global City Status~世界のなかの福岡~」を情報戦略室畠山尚久研究主査が執筆